

～交通事故に遭わないために～
交通安全啓発活動

1/21 (火)



フジグラン川之江で、四国中央市交通安全母の会（西川康子会長）と川之江南中学校の生徒 20 人による交通安全啓発活動が行われました。

参加者は交通安全を祈願して作ったお守りと啓発チラシを、市民のみなさんに交通安全を呼び掛けながら配布しました。

～まちのシンボルを心に刻んで～
被災マツで卒業証書作り

1/25 (土)



紙のまち資料館で、四国中央市の職員有志による被災マツのおがくずを使用した卒業証書用紙作りがありました。これは、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の小学校に紙のまちとしての応援をしようといわれたものです。用紙は、復幸応援センターを通じて希望する陸前高田市の学校に贈呈する予定です。

～継承すべき貴重な財産を守るため～
文化財防火デーに係る防火訓練

1/27 (月)



土居町津根の三福寺（市指定文化財「大般若経全 600 巻」所蔵）で防火訓練が行われました。訓練は、境内本殿近くより不審火にて出火したという想定で、参拝者と近隣住民がバケツリレーで初期消火をした後、消防車による放水訓練が行われ、参加者は地域の大切な文化財を守るための防災意識を高めました。

～地域の国際化に対応～
市国際交流ビジョン

1/15 (水)



市役所で市国際交流ビジョン提言書贈呈式が行われました。これは、市国際交流ビジョン委員会が国際交流・国際協力の推進などを目的に、平成 26 年度から 10 年間、社会状況に応じて計画を随時見直そうとするもので、同委員会和田寿博委員長（愛媛大学法文学部教授）から篠原市長へ提言書が手渡されました。

～紙に恩返し～
ふるさと納税寄付金

1/17 (金)



市長室で岡山県倉敷市在住の工藤恒芳さんによる、ふるさと納税寄付金の贈呈式がありました。工藤さんは、会社を経営していた時に、紙の原材料を市内の業者に販売していたそうで、「今の自分があるのは紙のお陰で、紙に恩返ししたい」と、工藤さんから市に 100 万円のふるさと納税が寄付されました。

～情報デザイン科の最後の作品～
第 19 回卒業制作展

1/17 ~ 21



福祉会館 4 階多目的ホールで、三島高等学校情報デザイン科による卒業制作展が開催されました。会場では、同科を卒業する 32 人による作品を含む多くの作品が所狭しと並び、会場を訪れていた同校の生徒たちは、談笑しながら会場をめぐり、同級生らの作品を楽しんでいました。

～みんなのための音楽教室～
高嶋ちさ子コンサート

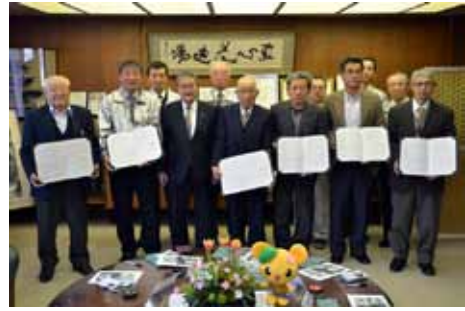
2/1 (土)



土居文化会館（ユ一ホール）で、四国中央ふれあい大学「高嶋ちさ子コンサート」が開催されました。コンサートは2部構成で行われ、会場は高嶋さんが奏でるヴァイオリンや共演者のチェロとピアノのハーモニーに包まれ、伸びやかで繊細な音色が満員の観客を魅了しました。

～手をつなごう地域と地元業者～
災害協定調印式

1/28 (火)



市長室で、地元の水道・建設などの業者と西寒川自治会（飛鷹定男会長）・西寒川自主防災会（宮崎幹也会長）による災害時における建設資材等の使用に関する協定調印式がありました。これは、災害時などに、地域住民の安全確保のために、建設用資機材などを使用して支援体制を充実させようといわれたものです。

～中之庄公民館で防災訓練～
手つなぎ防災ひろば

2/3 (月)



中之庄公民館で手つなぎ防災ひろばが行われました。これは防災訓練を通じて異なる年齢層間の交流を図り、防災知識を高めようといわれたものです。伊予三島赤十字奉仕団が中心になり、中之庄小学校6年生や地域住民など約100人が参加し、防災講座や応急手当などを熱心に学習していました。

～力を合わせ楽しくパフォーマンス～
全国エアロビック交流大会に出場

1/29 (水)



四国中央市エアロビック協会（宇高英治会長）に所属する塩入久恵さんを始めとするチームのメンバーが、大阪府で開催される全国大会出場の報告に市長を表敬訪問しました。篠原市長は「笑顔忘れず楽しく頑張ってきてください」と激励の言葉を述べました。

～高齢者のよりよい生活のために～
四国中央医療福祉総合学院

2/3 (月)



四国中央医療福祉総合学院からの寄附金贈呈式が市長室で行われました。これは同学院作業療法学科の生徒らが授業の一環として制作した陶芸作品を販売し、その売り上げを寄附するもので、同学科1年の三木哲也さんから市長に寄附金が手渡され、これに対し市長から同じく1年の酒谷雅美さんに感謝状が贈られました。

～住民団体が結束～
暴力団排除コミュニティ協議会

1/30 (木)



中之庄公民館で市内の社会福祉協議会や防犯協会、広報委員会など10団体で構成する暴力団排除コミュニティ協議会（近藤之夫会長）の発足式が行われました。地域住民による暴力団排除に向けた協議会が県内で初めて発足しました。発足式では参加者を代表して、石川勉副会長より暴力団排除宣言がされました。

～災害から命を守るために～
防災キャラバン in 四国中央市 2/8 (土)



土居文化会館
ユーホールで愛媛
大学防災情報研究
センターと四国中
央市による連携防
災講演会「防災キ
ャラバン in 四国中
央市」が開かれま
した。南海トラフ巨大地震は今後 30 年以内の発生率
が 60% ~ 70% と言われており、来場者は改めて自主防
災組織の重要性や防災・減災に向けた取り組みの必要
性を学びました。

～私たちにできる地産地消～
地産地消・食育推進フォーラム 2/15 (土)



川之江文化セン
ターにて、「第 39
回四国中央農山漁
村ふるさとづくり
大会」と「第 9 回
四国中央市地産地
消・食育推進フォー
ラム」が開催され
ました。大会では、グループの活動事例発表やふるさと料理試食会、講演会、産直市などが行われ、参加者は地産地消の重要さや農業の苦勞・やりがい・楽しさ、また地産品の美味しさも存分に味わっていました。

～東予地域の 3 市などが団結して～
災害協定締結式 2/7 (金)



東予地方局で、
災害時における物
資供給協力に関す
る協定の締結式が
ありました。これ
は、災害時に、本
市・新居浜市・西
条市が愛媛県森林
組合連合会、宇摩森林組合、いしづち森林組合の
協力を得て、応急対策や復旧・復興対策に要する
資材調達などを迅速かつ的確に実施しようといわれ
たものです。

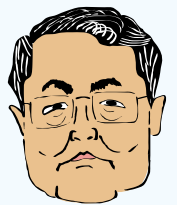
～地域の子供を守るために～
金田公民館で学習会 2/7 (金)



金田公民館体育
館で、「さめきっ
こ安全安心ネット
指導員による学習
会」が開催されま
した。
会では、子ども
達を取り巻くイン
ターネット環境の現状、また実際の事件や防止策
などの話があり、参加した大人たちは、子どもや
孫を守るためにどうすれば良いか熱心に聞き入っ
ていました。

今年の年始休暇は、どこかうつつしさがあった。
それは、次年度に向けての人事をしなければならぬというプレッシャー
である。それは、今も続いている。
人間、判断基準のはっきりしているものは、苦勞はしても困るというこ
とはないが、反対にそれが無い場合には、どう判断したらいいのか、さっ
ぱりわからなくなる。それでも立場上、ずるずるすることは許されない。
職員録も時間があれば覗いていたが、名前と顔が一致する人は限りなく少
ない。よく言えば、すべて白紙でできるといふことになるが、そう簡単で
もない。
私は、議員の頃には、合併前も、合併後も、自分から市政に何かをし
けるということとは、ほとんどしたことがない。あえて、そう決めて行動し
てきた。今回は、それがあだになってしまった。
人事は、ほとんどの人は満足しない。970人もいれば、なおさらである。
自分の微かな知識で判断することは、自分自身は、非常に危険なことであ
ると思っている。現実には、さまざまな要素があつて、うまくはいかないが、
それでも、自分は、一つの部署に就けば3年はそこで仕事をして欲しいと
思っている。3年すれば、その人の評価は客観的に出てくる。
かつて、県立高校の校長先生は、着任した限り3年は、やって欲しいと
頑張ったことがあった。でも、そうすれば、3分の1の教頭が校長になれ
ず終わってしまうと言われた。どれも一長一短がある。よほどのひねくれ
者でない限り、みんな、それなりの見識とプライドをもって仕事をしている。
当たり前である。
今年は、女性の管理職に期待をかけている。それは、後に続く後輩の為
でもある。上に立つ者の仕事の重要なことは、職場にやる気の出る雰囲気
を作ることである。気にいらぬ人材をどう使いこなしていくのが、勝
負である。
私のように、選挙を通じて、市民のみなさんに、その判断を仰ぐといふ
ことは、職員のみなさんにはできない。だから厳しいのだからと云える。
人事は、すべて、私の責任であると覚悟している。

市長の
ひとりのこと



四国中央市長
篠原 実

テーマ
人事